

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 多文化まちづくり工房

1 事業の趣旨・目的

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	出席者	議題	会議の概要
8 月 19 日	古市由美子 河先俊子 矢野泉 堀江廣史 グエン・ファン・ティ・ ホアン・ハー 早川秀樹	- 前半を振り返って - フェリス女学院大学での学習活動の振り返りと後期教室でのサポートについて 「大地2」の出版について 7月以降来日した学習者のサポート体制について	- 教室以外で補完的に学ぶ場として、フェリス女学院大学の日本語教員養成課程の授業に参加させてもらったのは双方にとってよかった。今後は教室に数回参加予定。。 - 大地1 修了以降大地2発行まで少し間隔があくのでその間の学習内容検討。 - 新規来日者については夏休みの間に出来る限り追いつく努力をして9月からは合流予定。
12 月 16 日	古市由美子 河先俊子 矢野泉	- これまでの振り返り 1月以降の教室について	大地2の内容だけでは不足部分が多く、補助的に日本語能

	堀江廣史 グエン・ファン・ティ・ ホアン・ハー 早川秀樹	・ 次年度の事業について	力試験等を使いながら、抜けている文型などについても学ぶ。 ・ 聴解能力や読解能力もやや不安があるので、積極的に行う。 ・ 今年度の取り組みは非常に成果が多かった。次年度以降も継続・拡充を。 ・ フェリス女学院大学としても継続して、教室と関わっていく予定。
--	---------------------------------------	--------------	--

3 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称 地域で学ぶ日本語教室

② 開催場所 多文化まちづくり工房事務所

③ 学習目標

日本に来日してから、仕事につく、あるいは学校に通うまでの期間の間に、日本で暮らす基礎となる日本語を学び、地域生活に必要な知識を身につける。

④ 使用した教材・リソース

日本語初級教科書「大地」、かんじ、千六の漢字、日本語能力試験3級問題集

⑤ 受講者の募集方法

当団体が行う日本語教室や生活相談の中で、受講対象者、あるいは受講対象者につながる人に告知を行った。また、団地内で戸配しているベトナム語情報紙内でも告知を行った。

⑥ 受講者の総数 24 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 90 時間 (全 60 回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者人数	内容
1	6月2日	1.5	6	参加者はすべてベトナム国籍・ベトナム語	教授者3人	導入
2	6月5日	1.5	9	〃	〃	自己紹介等学習
3	6月9日	1.5	10	〃	〃	「日本語初級教科書大地」1課学習
4	6月12日	1.5	11	〃	〃	大地2課学習
5	6月16日	1.5	9	〃	〃	大地3課学習および漢字学習
6	6月19日	1.5	12	〃	〃	大地4課学習および漢字学習
7	6月23日	1.5	11	〃	〃	大地5課学習および漢字学習
8	6月26日	1.5	10	〃	〃	大地6課学習および漢字学習
9	6月30日	1.5	11	〃	〃	まとめ1学習および漢字学習
10	7月3日	1.5	12	〃	〃	大地7課学習および漢字学習
11	7月7日	1.5	9	〃	教授者3人、補助者1人	大地8課学習および漢字学習、日本での生活について
12	7月10日	1.5	11	〃	〃	大地9課学習および漢字学習、日本での生活について
13	7月14日	1.5	10	〃	〃	大地10課学習および漢字学習、日本での生活について
14	7月17日	1.5	11	〃	〃	大地11課学習および漢字学習、日本での生活について
15	9月8日	1.5	14	〃	教授者	大地12課学習および

					3 人	漢字学習
16	9 月 11 日	1.5	13	〃	〃	まとめ2学習および漢字学習
17	9 月 15 日	1.5	13	〃	〃	大地 13 課学習および漢字学習
18	9 月 18 日	1.5	12	〃	〃	大地 14 課学習および漢字学習
19	9 月 25 日	1.5	13	〃	〃	大地 15 課学習および漢字学習
20	9 月 29 日	1.5	14	〃	〃	大地 16 課学習および漢字学習
21	10 月 2 日	1.5	11	〃	〃	大地 17 課学習および漢字学習
22	10 月 6 日	1.5	12	〃	〃	大地 18 課学習および漢字学習
23	10 月 9 日	1.5	11	〃	〃	まとめ 3 学習および漢字学習
24	10 月 13 日	1.5	12	〃	〃	大地 19 課学習および漢字学習
25	10 月 16 日	1.5	11	〃	〃	大地 20 課学習および漢字学習
26	10 月 20 日	1.5	12	〃	〃	大地 21 課学習および漢字学習
27	10 月 23 日	1.5	10	〃	〃	大地 22 課学習および漢字学習
28	10 月 27 日	1.5	11	〃	〃	まとめ4学習および漢字学習
29	10 月 30 日	1.5	10	〃	〃	初級前半まとめ、生活指導、進学相談
30	11 月 6 日	1.5	10	〃	〃	初級前半まとめ
31	11 月 10 日	1.5	11	〃	〃	日本語能力試験 4 級問題学習
32	11 月 13 日	1.5	12	〃	〃	日本語能力試験 4 級問題学習
33	11 月 17 日	1.5	12	〃	〃	日本語能力試験 4 級

						問題学習
34	11 月 20 日	1.5	11	〃	〃	日本語能力試験 4 級 問題学習
35	11 月 24 日	1.5	10	〃	〃	大地 23 課学習および 漢字学習
36	11 月 27 日	1.5	10	〃	〃	大地 24 課学習および 漢字学習
37	12 月 1 日	1.5	11	〃	〃	大地 25 課学習および 漢字学習
38	12 月 4 日	1.5	12	〃	〃	大地 26 課学習および 漢字学習
39	12 月 8 日	1.5	11	〃	〃	大地 27 課学習および 漢字学習
40	12 月 11 日	1.5	12	〃	〃	まとめ5学習および救 命講習
41	1 月 12 日	1.5	9	〃	教授者 3 人、補 助者 1 人	大地 28 課学習および 漢字学習、面接練習
42	1 月 15 日	1.5	9	〃	〃	大地 29 課学習および 漢字学習、面接練習
43	1 月 19 日	1.5	9	〃	〃	大地 30 課学習および 漢字学習、面接練習
44	1 月 22 日	1.5	10	〃	〃	大地 31 課学習および 漢字学習、面接練習
45	1 月 29 日	1.5	8	〃	教授者 3 人	大地 32 課学習および 漢字学習
46	2 月 2 日	1.5	10	〃	〃	まとめ6学習
47	2 月 5 日	1.5	11	〃	〃	大地 33 課学習および 漢字学習
48	2 月 9 日	1.5	10	〃	〃	大地 34 課学習および 漢字学習
49	2 月 12 日	1.5	11	〃	〃	大地 35 課学習および 漢字学習
50	2 月 16 日	1.5	10	〃	〃	大地 36 課学習および 漢字学習

51	2月19日	1.5	9	〃	〃	大地 37 課学習および漢字学習
52	2月23日	1.5	10	〃	〃	まとめ7学習
53	2月26日	1.5	8	〃	〃	大地 38 課学習および漢字学習
54	3月2日	1.5	9	〃	〃	大地 39 課学習および漢字学習
55	3月5日	1.5	8	〃	〃	大地 40 課学習および漢字学習
56	3月9日	1.5	7	〃	〃	大地 41 課学習および漢字学習
57	3月12日	1.5	8	〃	〃	大地 42 課学習および漢字学習まとめ8学習
58	3月23日	1.5	9	〃	〃	日本語能力試験4級テスト
59	3月26日	1.5	8	〃	教授者 3人、補 助者1人	日本語能力試験4級テストおよび解答
60	3月30日	1.5	8	〃	〃	日本語能力試験4級テストおよび解答

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

7月7日

漢字学習:「千、川、先、早、草、足、村、大」

まず、前回、前々回まで学習した漢字 16 文字を使って、確認のための小テスト。

その後、前半 4 文字を板書。それぞれの音読み、訓読みを板書。「千六の漢字(ベトナム語版)」を参照しながら、それぞれの漢字を使った熟語などを例示。ベトナム語の通訳などを入れながら説明。講師の一人である「早川」の漢字がまとめて出てきたので、名前の話題などにも触れる。その後、後半 4 文字を同様の形で学習。

大地:宿題の 7 課基礎問題確認。8 課新出単語の確認。日本語で説明後、ベトナム語で説明。本文音読。文型 1「あります・います」説明。問題 1-1 および 1-2 で確認。文型 2「前、隣、後ろ、横等」説明。問題 2-1 および 2-2、教室内の物を使って練習。文型 3「～は～にいます・あります」説明。問題 3-1、3-2、3-3 で確認。文型 4「～にいます」説明。問題 4-1、4-2 練習確認。文型 5「～ましょう」説明。問題 5 練習確認。「使いましょう①」練習。

②および 8 課基礎問題は宿題。

生活について:自治会から団地で生活するうえでの注意「騒音」について説明。ベトナム語で通訳。

7 月に入って来日した学習者(学齢期 2 名、非学齢期 2 名)の学習のため、1 名は別室で平仮名・カタカナの確認。

12 月 11 日

大地:まとめ5「可能形」を中心に 23 課～27 課の復習。

普通救命講習:ベトナム語通訳を交えながら、AED の使い方や人工呼吸と心臓マッサージの方法、救急車の呼び方を学習。実際に人形を使って練習。

防犯講座:いちよう団地周辺の事件・事故について。特に発生数の多い自転車やバイクの盗難防止策についての指導。

(特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。また、教室風景の写真を数枚添付。)

⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
グエンファンティ ホアンハー	ベトナム語(ベトナム)	14 年	60 回	日本語指導, 通訳

⑪ 支援者の名簿(⑦以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
早川秀樹	多文化まちづくり工房	神奈川県地域日本語支援コーディネータ研修修了	60 回	カリキュラム作成、指導
宗岡佐知	玉川大学通信教育部	元青年海外協力隊	60 回	
堀江広史	いちよう団地連合自治会事務局補佐			

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

基本的に当初予定していた目標である初級レベルでの日本語は十分に学べたのではないかと
思う。また、漢字の能力も予想以上に達成できた。

② 学習者の習得状況

日本語初級教科書大地1および2を修了し、初級レベルの日本語は習得できた。日本語能力試験4級の問題では、全員9割程度取れるようになっており、3級の問題でも聴解以外では合格レベルに達した人が多かった。聴解についてはまだまだの部分があり、今後の課題である。

教室開始以降に来日した学習者も学齢期含め4名いたが、教室の前後や水曜日、夏休み中などに補習を行い、10月頃の段階でほぼ追いつかせることができた

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

日本語の基本的な知識は十分に身につけることができたと思う。結果として、4人の学習者が面接試験を経て、定時制高校に進学することができた。これは、日本語の能力の問題もさることながら、教室の中で高校進学の可能性について情報提供したり、高校進学ガイダンスへの参加を促したり、まとまって文化祭見学に行ったりと高校進学を意識した取り組みを行うことができた成果だと思う。また、面接についても他団体や高校教員などの協力を得て、強力にバックアップすることができた成果である。4人以外にも高校への進学を希望していた学習者が数名いたが、家庭の事情により受験を諦めざるを得なかったのは、残念だった。

また、日本語を学習しつつ、徐々に仕事が見つかるケースが増えていった。景気の関係も大ききとは思うが、学習者同士で仕事を紹介しているケースも多く見られ、孤立しやすい新規来日者たちが、日本語教室があったことで、横のつながりを作れた成果だと考えられる。

来日直後に集中的に学ぶことが出来る場があることで、日本語の能力的にも大きな効果があり、同時に同じ地域にしながら、なかなかつながる機会の少ない学習者同士のつながりが生まれたことは大きな成果だった。

③ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

消防署との連携により、学習の一環として、普通救命講習を行った。AEDの使い方や救急車の呼び方などについても学び、普通救命講習修了の認定を受けた。今後の地域の防災訓練などでも活躍する人材になっていってくれると考えている。

また、警察署との連携により、防犯講座も行った。地域的に犯罪は少ないが、自転車やバイクの盗難が多く、その対策についてなどの説明を聞き、地域で安心して安全に暮らすための学習ができた。

また、自治会の方にも学習の場に参加していただくことで、地域の中でのちょっとした注意事項や最近の課題などについてもお話を聞くことができ、学習者にとっても良い効果があったと思う。

なにより地域の方と顔がつながる、ということが大事だとも思っており、気楽に声を掛け合える関係が小さいながらもできたのは良かったと思う。

④ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

中国語やカンボジア語を母語とする人たちも地域の中で増えてきている。また、少しずつ仕事が増えてきており、来日直後でも仕事につくケースが増えてきた。しかし、将来的にステップアップしていけるような展開が見いだせていないのも現状である。

b. 今後の課題

学習者の母語が出来る人材により多く関わってもらう必要がある。この地域のニーズから考えると他地域からでは人材が希少なため、地域の中で育った人材に関わってもらう形を作る必要がある。

また、新規来日者の仕事の状況などから考えると、夜の時間帯で集中して学習できる場を検討していく必要がある。

高校への進学というのは家庭の事情などでできないケースも多く、仕事をしながら日本語を学び、将来のビジョンを描けるようなモデルを地域の中で考えていく必要がある。

c. 今後の活動予定, 展望

引き続き日本語を学びたいという希望者が多いことから、継続して日本語を学ぶ場づくりが必要だと考える。また、地域の中の母語が出来る人達の力を巻き込みつつ、時間帯の拡大等についても検討していかなければならない。

また、将来のビジョンを描くために、ひとつのモデルとして、介護分野についての情報提供や言葉の学習を取り入れていけたらと思う。

③その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。